

「私は可能な限り偶然をコントロールし、呼び込み、自己の表現に取り込み描く。
私は無意識から出てくるものと意識が創り出すものを織り交ぜてコントラスト、ハーモニーを生み出したいと思っています。
私自身と世界とのインプロビゼーション（即興）です。
画面に向かい描くとともに、作品に色や形、染みが現れる。
私はそれらに感応しながら線を引き、引っ掻きながら擦る、消す。
作品の画面からイリュージョンが立ち現れる。
それに呼応して、私は絵の具で肉付けを施しながら直感的にニュアンスを創っていく。
飽和する前に筆を置く。
私にとって完成させた絵画を見せることが重要ではない。
私は自分の内で新しく書き換えられたばかりの美感、美意識を生のまま世界に提示し続けたいと考えています。」

平松宇造